



更なる改善を加えた 6C33C-OTLアンプ

AAFC例会資料

2012年7月8日

鳥居 康信

今回再生に使用します6C33C-OTLアンプは、出力段のみが6c33cという大型の真空管でそのほかのドライブ段を含む回路全体が半導体で構成されているので、ほぼ半導体アンプと見て良いと思います。しかし、回路設計にあたり半導体transistorで設計すれば電源電圧は±40Vもあれば30W以上の出力を得るのは容易い事なのですが効率の悪い、特に6c33cではドライブ回路電圧に(-150V)を用意しなければならない為回路が面倒になり耐電圧の高い部品の選定や発熱を考えた回路設計が必要でした。

回路構成は、入力から出力まで直結のDC・AMPと成っているため出力に直流が発生しないように、DCサーボで安定させています又、電源トランスは通常は絶縁トランスを使用しますが危険を承知でアンプの重量を抑えて軽量化を図る為にオートトランスを使用して軽く組み上げています、そして出力管のヒーターの点火は以前はトランスで電圧を落としていましたが、スイッチング方式のPWM変調の電源を制作して発熱をおさえるのと軽量化をさらにしました。

今回の再生には電源にAC100Vの絶縁トランスを使いますが、自宅で使用するときには絶縁トランスなしで使っていますが、ハムノイズ等も発生しないで特に問題なく再生できています。

エスペランサ スポールディング

(Esperanza Spalding)

1984年10月18日 オレゴン州ポートランド出身の27歳

現在のベースを演奏する前はヴァイオリン学んでいたのですが、17歳でボストンのバークリー音楽大学に入学してからベースに変えjazzを演奏するようになりました。17歳で入学して早くもなんと20歳で同校の講師となりました。又、昨年のグラミー賞の最優秀新人賞に選ばれています。

演奏スタイルはウッドベース、チェロ、エレキベース等を弾きながらスカットを交えてボーカルを披露しています、ジャズ・ベーシストで歌手との枠では収まらないで幅の広い演奏スタイルを持ち即興性のある個性豊かなアーティストです。



youtube映像

Live at the White House

Time
7:10

Live at the White House はステイビーワンダーを前にしてステイビーの曲Overjoyedを演奏して次に歌うTony Bennettの伴奏もしています。

youtube映像

Black Gold

7:02

Black Gold は最新アルバムの中の曲でその曲のPVを映像で観ていただきます。

Tony Bennett
with Lady Gaga

the Lady Is Tramp

3:15

Tony Bennett
with Norah Jones

Speak Low

3:55

Carmen Mcrae

The great American Songbook

1 Satin doll

4:34

2 At long Last Love

2:27

3 If The Moon Turns Green

4:22

4 Day By Day

2:22

5 What Are You Doing The Rest Of Your Life

4:14

6 I Only Have Eyes fou You

4:12



以上